

あじさい 136号

第43回育成会運動会が開催!



入場行進をする夢工房みどりのみなさん

育成会コレクションでは世界遺産をテーマに仮装したさんらいずが優勝!



9月15日(土) 県立体育館アリーナにて育成会運動会が開催され、500名近くの本人、家族、来賓、職員などが参加し大いに盛り上がりました。



力と力のぶつかり合い! 応援する方も力が入る大迫力の綱引き

「おかね」との上手な付き合い方 セミナー開催



8月3日(金) ハートセンターにてながさき知的障害者生活サポート協会の主催で『「おかね」との上手な付き合い方』セミナーを開催し、暑い中30名を超える方に参加していただきました。

もくじ

- 育成会の災害対策
- おかねとの付き合い方
セミナー開催
- 育成会 ing
- きらり
- 九州大会報告
- 運動会報告
- お知らせ



育成会の災害対策

今年の夏は、6月の大阪府北部地震（震度6）、広島・岡山・愛媛などで200人を超える犠牲者を出した7月の豪雨、8月から9月にかけて次々と日本を襲った台風、そして記憶に新しい北海道胆振東部地震では北海道全土での被害が報道されました。多くの被災された方々はもちろん、障害のある方々やそのご家族は不自由な中、不安な避難生活を送られているだろうと心が痛みます。昨今の異常気象ではどこに住んでいても決して油断できないように思われます。

防災に関しては、9年前の広報あじさい92号で「障害のある人と災害」として取り上げましたが、新設・移転等で育成会事業所も様変わりしたので、改めて各事業所にお尋ねしてみました。皆さんは、我が子が事業所にいる時に災害にあった場合、どこに避難するかご存知でしょうか？避難訓練の現状や地域の避難所について伺いました。

●避難訓練の頻度と想定している災害について

福祉事業所は消防法で最低年2回（うち1回は所轄消防署立ち合いで）、消火訓練及び避難訓練を行うように定められており、グループホームを含むほとんどの事業所が法に則り火災や地震を想定しての訓練を行っています。また、育成会では防災マニュアルを統一して職員に周知されています。あ

じさいの家ではAEDの講習や不審者対策の講習を毎年開催しており、ワークあじさい職員も参加しています。また、利用者の多くが携帯やスマホを持っているワークあじさいでは、緊急速報「エリアメール」への対処法を学んでいます。

●地域の避難所と訓練の状況

それぞれの事業所の地域の避難所は以下の通りです。

あじさいの家	ワークあじさい	陽香里工房	夢工房みどり	さんらいず
・三重中学校	三重中学校	・香焼小学校 ・香焼中学校 ・香焼町公民館	・大橋地域コミュニティ 消防センター	・銭座小学校 ・大橋地域コミュニティ 消防センター

どの事業所も避難所までの避難訓練は行っていませんでした。また、ご家族への避難所の周知がなされていない所もありました。

●災害に備えた食料等の備蓄について

「陽香里工房が1日分の水とビスケットを備蓄」「さんらいずはクッキー等の商品はあるが、2年前の熊本地震の折に備蓄していた水を送ってしまって補充していない」「各グループホームは避難セットの入ったリュックを全員分備えてあるが、事業所は人数が多くて難しい」等、現状としては不十分な印象でした。



グループホーム三京の防災セット（一人分）

ヘルメット・折り畳み簡易トイレ・缶入りパン・水・氷砂糖・レインコート・SOS 笛・給水タンク(10ℓ)・防塵マスク・アルミ救急シート



9月19日に実施された夢工房みどりの避難訓練の様子。北消防署の職員さんの話を聞いた後、壁に描いた炎に向かってエア消火訓練。



消火液は14秒しか出ません。ホースは炎の根元に向けて！

第58回九州地区手をつなぐ育成会 北九州大会開催

8月25日（土）北九州市「ウェルとばた」にて、「障害のある人たちの人権と権利を擁護し、共生社会の実現を目指そう」を主題に第58回九州地区手をつなぐ育成会北九州大会が開催され、長崎市からも本人9名を含む37名が参加しました。早朝6時の出発にもかかわらずみなさん元気に集合し、マイクバス2台に乗り合わせて北九州市へ向かいました。



式典では九州地区手をつなぐ育成会連絡協議会会長表彰が行われ、長崎県からは3名の方が表彰を受けられました。中央情勢報告では全国育成会連合会統括の田中正博氏が障害者を取り巻く社会情勢や連合会としての各育成会への働きかけについて話されました。実績ある組織が急速な時代の流れに対応できずにいる中、わが子の暮らしを思い始まった育成会が今の時代や社会・暮らしを見極めて役割を果たすことができれば、もっと障害のある人が市民とともに社会参加するための推進役になれるはずであり、そのためには自己改革が必要であると話されました。その後の基調講演ではご自身も障害者の親である毎日新聞論説委員の野沢和弘氏が、優生保護法によって強制的な不妊手術をされた障害者の8割が知的障害者であったことを取り上げ、障害者をネガティブにとらえる考えは現代も続いていること、また、意思決定はいろんな立場の人が関わりシェアされるべきものであることや好み（意思）は変わるものであり、その変容に支援者がついていかなければならないことなどを話されました。昼食後はそれぞれの分科会に分かれ話を聞きました。第4分科会では九州各県の本人たちが集まり、意見発表や知る見るプログラムのワークショップで交流しながら意見交換を行いました。また、第2分科会ではジョブコーチでもあるさんらい

●式典

●中央情勢報告

全国手をつなぐ育成会連合会統括
田中正博氏

●基調講演

「障害者の権利擁護」

毎日新聞論説委員 野沢和弘氏

●分科会

・第1分科会「日中活動」

・第2分科会「働く」

・第3分科会「権利擁護運動」

・第4分科会「本人部会」

～自分らしく決めたこと～

・観光コース A、B



長崎市育成会より参加したみなさん

ずの佐藤主任が「長崎市育成会の就労支援システム」について発表され、施設外作業や実習の取り組み、就労の定着やジョブコーチの役割りなどについて多くの質問が上がりました。来年は熊本県での開催（全国大会と併催）となります。みんなで参加しましょう！

障害のある人の
ご家族のための

「おかね」との 上手な付き合い方セミナー



長崎市の防災無線からは毎日のように熱中症に対する注意喚起の放送が流されていた8月3日、ハートセンター5F 社会適応訓練室にて、ながさき知的障害者生活サポート協会主催、長崎市手をつなぐ育成会共催で『「おかね」との上手な付き合い方』というテーマでセミナーを開催し、猛暑にも負けず31名の方が参加してくださいました。



講師に有限会社エフピーコンサルタントファイナンシャルプランナーで育成会会員でもある與賀田千春さんを迎えて、今回は家計、資産運用、保険について詳しく講演して頂きました。「各家庭によって家計は変わりますが、お金の動きの概要や残し方はわかりません。どなたにも知っていて欲しいそれぞれの家庭にあった「おかね」との付き合い方を学ぶ機会になって

頂きたい。」と話してくださいました。また、子どもにお金を残すことばかりにとらわれていると、親自身の生活がおろそかになりがちです。親が元気な時（親に収入があるとき）に目標をたて親自身が将来の自立した生活を送れるようにすることが重要とも話されました。

とある家庭の家族年表

西暦	2018	2021	2026	2034	2050	2061
母親年齢	0	3	8	16	32	43
父	52	55	60	68	84	95
母	44	47	52	60	76	87
子	17			33	49	

家族年表に家族の年齢を書き込むと、にわかにかに親亡き後が現実味を帯びてきます。



講師の與賀田さんは発達障害のある高校生のお母さんでもあります。

途中、ワークを挟み自分の家族年表を記入する作業を行いました。自分や子どもの年齢・イベント（子どもの結婚、定年や家のリフォーム、車の買い替えなど）等を書き込むと、わが家のマネープランはこれでいいのかとじわじわと不安が押し寄せてくるようでした。真剣に考える必要性を再確認した人も多くいらしたようです。参加者のみなさんからは「自分の老後について考え直すことができた。」「個人年金や投資等、何か出来そうなことを考えるきっかけになった。」「兄弟姉妹がいないので、誰かに託さないといけない場合の方法が分かった。」という声や、「親なき後実際に子供の生活にどのくらいのお金が必要なのか?」「子どもの生活のために親が残したお金を確実に渡せる方法は?」「行政の力に任せられるような法整備をして欲しい。」という声もあり、悩みは尽きない様子も見受けられました。今回来れなかった方やさらに詳しい情報を知りたいという方のために、今後もこのセミナーを継続していく予定です。

育成会 ing

福祉合同ガイダンス開催

8月17日（金）、県立鶴南特別支援学校にて福祉合同ガイダンスが開催されました。

今年で4回目となるこのガイダンスは、県内特別支援学校の児童・生徒及び保護者、職員、福祉サービス事業者が参加します。長崎市育成会も一人でも多くの方に育成会のことを知っていただくために事業者として参加しました。広い教室に事業所ごとのブースを設け、法人や事業所のPRポスターやパンフレットを準備し、生徒・保護者からの進路相談や事業所の説明を管理者及び支援課長、主任が個別に行いました。3時間という短い時間でしたが、全事業所合わせて約40件の相談がありました。

みなさん関心のある事業所の説明を熱心に聞かれていました



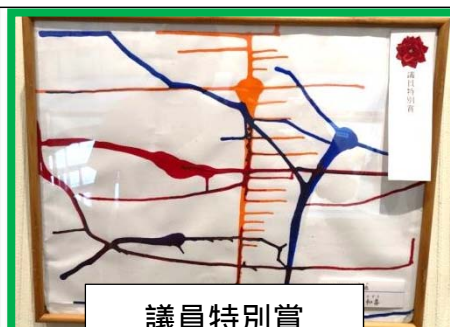
「さんさん国際アート展開催」

9月20日～24日に長崎ブリックホールで行われた「さんさん国際アート展」に長崎市育成会の本人さんたちの作品を出展しました。このアート展は、岐阜にあるさん・さん福祉会が主催し、日本縦断、5か所ほどの地域で開催してきており、長崎市育成会からは20点ほど出展しました。今回、長崎市長賞をはじめいくつかの賞をいただきました。障害のある方たちの芸術に関しては、今年度障害者文化芸術活動推進法の制定もあり、また、様々な団体で、世界的にもアールブリュットの活動（専門家ではないが、感性と芸術性を持つ障害のある人たちの優れた作品を世に広める活動）も、盛んに取り組まれています。長崎市育成会でも、本人さんたちの余暇活動や事業所の支援の中でも、芸術的な活動を大事にしてきましたが、今後も障害のある方たちの才能を尊重し、豊かでピュアな感性を大切にしていきたいと思いを新たにしました。（谷）

育成会からたくさんの方が賞を受賞しました。一部をご紹介します



さん・さん賞
吉田淳一郎さん



議員特別賞
川口和喜さん



長崎市長賞
陽香里工房生活介護

き ら り

今回のきらりは9月15日に開催された運動会で、選手宣誓や応援団長として緊張の中頑張られた3名の方をご紹介します。



選手宣誓 吉田淳一郎さん（ワークあじさい）

「選手宣誓をすることになり、自分でも驚きましたが、初めてのことなので挑戦してみようと思いました。当日はもっとうまくできたらよかったと思ったけれど、体調の悪い中でもきちんとやり遂げようと頑張りました。」

支援員さんの話「選手宣誓のないようは、吉田さんにアイディアを出してもらい文章にしました。本番では言葉に詰まることもありましたが、無事にやり遂げることができてホッとした様子でした。」



白組応援団長 石川勝則さん（夢工房みどり）

「大きな声を出すのが好きなので、応援団長をやってみたいと思っていました。みんなと合せるのがたいへんでしたがうまくいきました。」

支援員さんの話「運動会など行事に積極的に参加してくれる方なので、練習は自分から率先して大きな声を出し、声掛けをしなくてもスムーズでした。」

今年は昼食前に紅白の応援団長がじゃんけんで午後からの応援合戦の先攻後攻を決めました。会場みんなが見つめる中、紅組の石本さんが見事に勝って後攻を選びました。



紅組応援団長 石本潤さん（あじさいの家）
「紅組は負けたけど、とっても楽しかったです。大きな声を出して頑張りました。また団長をやりたいです。」

支援員さんの話「練習の時から大きな声でかけ声を言うことができるようにとても頑張っていました。石本さんのおかげで紅組が団結して楽しく応援ができたと思います。お疲れさまでした。」



育成会運動会開催！



選手宣誓は
吉田淳一郎さん
(ワークあじさい)

9月15

日(土)、第43回育成会運動会が、長崎県総合体育館(アリーナかぶとがに)にて開催されました。利用者・会員・職員、そして、ボランティア(長崎大学、NECホールディングス・長崎出島ライオンズクラブ・一般)の皆さんも含め、総勢500名の参加者で体育館内は熱気に包まれ、様々な競技が繰り広げられました。スタート、決勝、用具、放送等の係なども利用者の皆さんが担当され、随所に育成会らしさが溢れた運動会となりました。今年は終始安定して得点を重ねた白組が優勝を飾りました。来年は創立60周年を祝う記念の年ということで、育成会行事にもさらに楽しめる内容を加えていく予定です。来年もたくさんの皆さんに参加していただいて、アニバーサリーイヤーを盛り上げましょう！



『借り物競争』では喜びを着た来賓の方とゴール！

会員競技『〇を探せ!』では5人全員〇が2チームも！育成会ルールのじゃんけんでさんらいずの勝利！

毎年一番人気の『パンくい競争』は約80人の皆さんが熱戦を繰り広げました。



『育成会〇×クイズ』の「イケメン手押し相撲対決」は陽香里の中村支援員VSみどりの西田支援員。軍配は西田支援員に。

『育成会コレクション』会員と各事業所、趣向を凝らした扮装でチーム4人一緒にランウェイをパフォーマンスしながら歩いてポーズをとり、会場の視線を集めました。中でも長崎の世界遺産と商品のPRをうまく組み合わせたさんらいずが優勝しました。

さんらいず：長崎の世界遺産

あじさいの家：オリンピック男子400mリレー

会員：フラダンス



ワークあじさい：育成会アイドル誕生

陽香里工房：西遊記

夢工房みどり：オリンピック

おしらせ

習字



日時:第4土曜日

時間:午後1時~

場所:ハートセンター社会適応訓練室

会費:1回 500円

社会福祉法人
 長崎市手をつなぐ育成会 広報部
 長崎市大橋町 19-19
 文教カテリーナ1F
 Tel:095-845-5677
 E-mail:tewotunagu@hi.enjoy.ne.jp

フラワーアレンジメント

日時:第2・第4土曜日 午前10:30~

場所:ハートセンター5F 社会適応訓練室 会費:1回1300円

おたのしみクラブ

日時:10月21日(日) 13時~15時

内容: DVD鑑賞

日時:11月18日(日) 13時~15時

内容: カラオケ

*参加費300円は翌月請求させていただきます。ただしカラオケは実費を請求いたします。

*人数把握のためにお申し込みをお願いします。お申し込み・お問い合わせは

ハートセンター事務局まで。 Tel:847-1290

※計画は変更されることがありますので確認をしてから参加してください。

会員定例会

10月の定例会 10月 16日(火) 10:00~12:00

*「親心の記録記入 パート③」 大橋町「育成会生活支援センター」会議室

11月の定例会 11月 14日(水) 13:00~15:00

育成会ボウリング大会

とき:11月11日(日) 10:00集合 10:30開始

ところ:ラッキーボウル(大橋町)

参加費:900円(ボウリング2ゲーム・シューズ代)

※翌月請求となりますので当日は集めません。

お申し込みは10月31(水)までにタイムケア事務局(☎845-5677)

またはハートセンター事務局へ(☎847-1290)(午前と木曜日は不在)



遺言・相続のお悩みを
弁護士さんに相談し
てみませんか?

遺言・相続全国一斉相談会

とき:11月15日(木) 相談は無料ですが事前予約が必要・各支店に申し込み用紙あります

お問い合わせは たちばな信用金庫諫早本店業務部0957-22-0027

またはたちばな信用金庫長崎中央支店095-826-2203まで 締め切りは10/19